

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24 年 2 月 13 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3495000022		
法人名	社会福祉法人 誠心福祉会		
事業所名	誠心園グループホーム		
所在地	広島県江田島市江田島町宮ノ原三丁目18番66号 (電話) 0823-42-6177		
自己評価作成日	平成23年11月1日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.hksiks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3495000022&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成23年11月29日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

山と海に囲まれた温暖な気候の中でのんびりと一人ひとりの思いを大切に、家庭的な雰囲気の中で自由に行動していただいています。建物は木造平屋建てで、施設的でなく、エコロジカルな設計になっています。温熱・床材に自然素材を使用し、地震や火事に強いよう断熱性を高めています。遮熱に屋根、壁、ペアガラスを使用し、結露防止など使用エネルギーを減らす使い方に取り組んでいます。大地、太陽、水、これらの持つ自然エネルギーを有効的に建物に取り入れ自然界に近い形で暮らせるジオパワーシステムを取り入れています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

誠心園グループホーム（以下、ホーム）は、山と海に囲まれた穏やかな環境の中にあります。母体法人の特別養護老人ホーム退職者がスタッフとして多く再雇用されていることもあり、認知症高齢者のケアに関する知識や技術の水準が高いといえます。この度の東日本大震災後、防災対策にも前向きに取り組み、ミウラ折りという特殊な形の防災マップが職員一人ひとりに配布され、危機管理意識を一層強めておられます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	利用者の尊厳と自立を守り、地域の中で安心して生活できるよう事業所独自の理念がある。会議やミーティングで話し合い、全職員が共有できるようにしている。	新人研修の段階からホーム独自の理念を教育され、ケアに迷った時の判断材料とされています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	自治会の秋祭り・文化祭参加や保育園の園児やご近所さんを招待して餅つきをして地域との交流を図っている。秋にはミカン狩りに招待していただいた。	自治会の秋祭りや行事に積極的に参加し、ホームの餅つき等には近隣の住民や保育園児を招待して地域交流を図っておられます。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	事業所独自では相談を受けることはしていないが、運営推進会議や地域の民生委員を通じて相談を受けることがある。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議には、行政担当者・地域包括支援センター・地区役員・家族の方にホームでの現状を報告して、意見や助言をいただきサービス向上に努めている。	行政担当者、地域包括支援センター職員、地域住民、家族の参加を得て開催されています。ホームの報告の後、意見交換が行われサービスの質の向上に繋がっております。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	相談、質問等を電話で行っている。運営推進会議で取組みを伝え、評価していただいている。	制度の質問や相談、運営推進会議での取組みや街路灯設置、スプリンクラー設置等その都度報告し、協力関係を維持されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止については、職員研修会で学び遅れ組んでいるが、安全確保のために仕方ない場合もある。</p>	<p>入居者優先の生活を大切に考え、日中は玄関の施錠は行われていません。近隣住民が入居者の居場所を教えてくれることもあります。地域との連携が十分に図られています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>研修の機会を設け職員全体で確認して、防止に向けて取り組んでいる。地域の人権擁護委員を招いて法人研修を開く予定あり。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在、成年後見人制度を利用されている方がおられる。今後も要望があれば行政担当者や地域包括支援センター、社会福祉協議会と連携を取って支援していきたい。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時の契約については、パンフレット配布、利用者を含めての事前見学をしていただき、本人・家族と十分な話し合いの後行っている。契約書・重要事項説明書に署名捺印してもらい、一部を家族に保管していただく。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日常生活の中で、利用者や家族に常に尋ねるようにしている。意見・苦情等気軽に話し合えるような関係作りに心がけている。</p>	<p>家族交流会等で意見を聴取したり、アンケート調査を行ったりして入居者、家族の意見が反映されるよう努力されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>一日2回のミーティングにて、職員の意見・提案を言ってもらい、良い提案は実践につなげている。</p>	<p>一日2回のミーティングを設けておられます。入居者のケアに関する観察力が豊かになったり、意見が多く出るようになったりして、質の向上に繋がっていることが確認できました。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>本部の人事担当で、職員の個別面談を行い、職員の意見を聞いたり、必要時は指導を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>認知症に対する深い理解や洞察そして、介護力の向上を培うための研修会を持つようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>近隣のグループホームとの交流はないが、今後交流を持つ機会が予定されている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>認知症のレベルによっては、本人との話し合いができない場合もある。本人も含めながら、家族や入居前のケアマネージャーから話を聞き、関係作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居に至るまでの、家族の思い・利用者本人の状況等を伺い、意見や要望をサービス提供に活かせるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>聞き取りを含めた話し合いを行い、支援の方向性を見極め、他サービスも視野においた対応に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>買物・掃除、洗濯たたみなど、能力に応じて一緒に行っている。利用者の得意とする趣味は共同で作成することで、連帯感と親近感を持ってもらえるようにしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族面会時には、状況報告を行うとともに、話しやすい関係を築くように努めている。家族と交流できる行事を複数行い、職員との絆をより深いものにするよう心がけている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>希望があれば家族と帰宅や外出をしている。入居前のかかりつけ医療の継続や、近所・知人の面会も促進している。</p>	<p>馴染みのかかりつけ医を継続してもらったり、訪問客にお茶を出してゆっくり寛いでもらったりして、友人、家族等が訪問しやすい雰囲気作りに努めておられます。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者間の関係を十分に知り、食堂の席やソファに座り場所に配慮している。食事に誘ったり、トイレの場所を教えたり、迷っている人に声をかけたりする姿がある。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後も可能な限り、継続的に関わりを持つようにしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本心で話す人もいるが、本心を言わない人や、表現できない人がいるので、何気ない話の中で見出したり、態度で感じ取ったりする努力をしている。	入居者と職員の相性を見て聞き取る職員を工夫したり、少しの表情の変化から読み取ったりして、一人ひとりの思いや希望、意向の把握に努めておられます。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前に、家族・担当ケアマネージャーから情報を提供してもらい把握するようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりの状況を把握し、情報の共有に努め記録するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>計画作成担当者が中心となって、本人・家族・職員で話し合うようにしている。本人・家族からの意見がない時は、日常を良く知っている職員が主となってしまふことがある。</p>	<p>家族には事前に説明をし同意を得て必要な関係者と話し合いを持ち、介護計画を作成しておられます。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>状態変化に応じた日々の個別記録の記入を行い、全職員が何時でも閲覧し意見反映できるようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>隣接している特養の趣味活動に参加したり、医療関係者や管理栄養士と連携を組んで利用者の心身の健康維持に取り組んでいる。個別の買物や墓参りなど臨機応変に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>消防署立会いの避難訓練の実施、保育園児を招いての餅つき、ボランティアの方による絵手紙などの支援をいただいている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>母体施設の医師が主治医となっており連携は密に取っている。状態に応じて、適切な医療が受けられるようにしている。受診介助も必要があれば行っている。</p>	<p>主治医は母体施設の医師です。週1回の回診があり連携は綿密です。また、必要に応じて適切な医療が受けられるよう受診介助も行っておられます。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>看護師は配置していないが、必要に応じて隣接する特養の看護師と連絡・相談し連携を取り、健康管理に努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院された場合、病院の連携室等との情報交換をしている。早期退院は常に念頭におき支援している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居時より、ある程度意思確認はしている。重度化したときには、家族・主治医と話し合いを行い、方針を決めている。隣接している特養に転籍したり、自宅近くの病院に入院して終末期を迎えた例もある。</p>	<p>医療ケアが必要なケースに備えて勉強会を開催されています。家族の意向、本人の状態等で今後の方針を模索されている段階です。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>利用者の急変、事故発生時に主治医の指示を受け、救急手当で、初期対応をしている。特養が主催する研修会があるが、全職員が実践力を身につけているとはいえない。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>消防署立会いの避難訓練の他に2ヶ月に一度の割合で自主的に避難訓練を実施している。近隣の協力は得ていないが、運営推進会議に参加をいただき、災害時には地域の消防団員の協力を得るようにしている。災害時の訓練は実施できていない。</p>	<p>法人特製の防災手帳を全職員が所持し、リスク別の対策が簡潔にまとめられています。</p>	<p>この地域で考えられる具体的な災害を想定し、今後は法人全体で対策を考えたいか期待します。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人生の先輩として尊重し、失礼の無いよう、穏やかに対応するよう気をつけている。	方言を使う場面もありますが、会話の中に入居者を人として尊重していることがひしひしと伝わってきます。その人らしい生活を実現する努力を重ねておられます。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	個々人の理解力に合わせた、声掛けや説明を行い、本人の希望等が表出しやすいよう雰囲気を作り、無理強いにならないような自己決定の支援をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースに合わせて、日々の生活を支援している。入浴日は決めているが、本人の希望でその日以外に入っていただくこともある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	特に希望がない場合には、訪問理美容を利用してもらう。家族が面会時に散髪をされる方もいる。更衣時は季節に合った服装ができるよう声かけしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	職員は利用者と一緒に食事をして会話を楽しむようにしている。配膳・後片付けは無理強いせず自主的に手伝っていただいている。要望にてお好み焼き・ハンバーガーを食することもある。	冷凍素材を使用せず新鮮な材料を使った食事が毎日提供されています。職員は持参した弁当を持って一緒に食卓を囲み、和やかに食事を摂られています。	入居者に見合った食事が提供されているかどうかを確かめる意味でも、検食を行うことを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>献立は隣接している特養の管理栄養士が立てている。食事・水分摂取の状況の記録を行い、摂取量の少ない方には、高カロリーの飲み物や好みの乳製品・おやつ等で補うようにしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後の口腔ケアを実施している。自分で行えるところはしてもらい、後は介助している。義歯の不適合、出血、口内炎等に気をつけ、必要に応じて受診してもらう。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄の失敗が無いよう、個々に合わせたパターンで誘導している。</p>	<p>昼夜を問わず、個々に合わせたパターンでトイレ誘導を行い、排泄自立に向けた支援を行うよう職員全員で共有しておられます。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便管理を行い、時にはオリゴ糖を飲用している。食生活・運動に工夫しながら自然排便できるように努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>身体レベルを考え日程を決めているが、本人の思いや状態変化があるので、曜日にとらわれず入浴してもらう場合もある。勤務体制や医療面との連携もあるので夜間の入浴は行っていない。</p>	<p>入浴日の日程は予め決められていますが、入居者の意向に沿って希望された時にゆっくりと入浴を楽しんでもらうよう配慮されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	その日の心身の状態を把握し、必要であれば居室で休んでもらったり、ソファで休んでもらう。安眠のため、日中のケアをきちんとし、身体の痛み、痒み、暑さ、寒さ、空腹等に配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	主治医の管理・指示の下に服薬介助・確認を行っている。薬剤情報は個人のファイルに綴っている。症状に変化があれば主治医に報告し、連携をとっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	その人の能力に応じた役割作りができてる。買物・散歩、レクリエーション等を要望を取り入れて支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	随時、希望があれば外出するようにしている。サーカス見物、宮島参拝など利用者の夢を実現できた。家族と自宅に帰ってのんびり過ごされる方もいる。	会話の中から外出したい気持ちを汲み取り、希望の場所への外出が実現できるよう取り組んでおられます。特に希望のない入居者へは昔を振り返って、馴染みの場所へ外出してみるということも試みておられます。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理が可能で所持を希望される方には、助言しながら使えるよう支援している。移動パン利用や近所にてみかん購入をする方もあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>利用者の希望で電話をかけたたり、家族からの電話を取り次ぐこともある、1名携帯電話を所持して自由に家族との連絡を取っている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>天井高で窓が多いため自然光が入り、季節をふんだんに感じることができる。玄関やホールに利用者の作品を展示したり。季節の植物を置いたり、お花を生けたりと明るく落ち着いた雰囲気をかもし出せるような工夫をしている。</p>	<p>建物は窓が多く自然の採光が十分に取り入れられています。また、建物は木造の建築物で周囲のウッドデッキが山里の自然な景観によくなじみ、落ち着いた雰囲気を醸しています。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>玄関先のロッキングチェア・ホール内にソファや椅子を置きどこでも休めたり、思い思いに過ごせるように工夫している。気の合った利用者同士でそれぞれの居室にてくつろいでいる。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅から使い慣れた家具を持参していたり、家族の写真や植物を置き心地よく過ごしていただけるようにしている。冷蔵庫を持参している方もいる。</p>	<p>自宅から持ち込まれた冷蔵庫、タンス、写真、植物等で違和感なく生活できるよう配慮されています。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>建物内部はバリアフリーで安全に生活を送られるように、ゆったりした居室内には洗面台・トイレが設置してありプライバシーが保てるようにしている。居室の入り口には個々人の持ち寄った物を置いてわかりやすくしている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の3分の2くらいの
			③利用者の3分の1くらいの
			④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の3分の2くらいと
			③家族の3分の1くらいと
			④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の3分の2くらいが
			③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の3分の2くらいが
			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	利用者の尊厳と自立を守り、地域の中で安心して生活できるよう事業所独自の理念がある。会議やミーティングで話し合い、全職員が共有できるようにしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	自治会の秋祭り・文化祭参加や保育園の園児やご近所さんを招待して餅つきをして地域との交流を図っている。秋にはミカン狩りに招待していただいた。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	事業所独自では相談を受けることはしていないが、運営推進会議や地域の民生委員を通じて相談を受けることがある。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議には、行政担当者・地域包括支援センター・地区役員・家族の方にホームでの現状を報告して、意見や助言をいただきサービス向上に努めている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	相談、質問等を電話で行っている。運営推進会議で取組みを伝え、評価していただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止については、職員研修会で学び遅れ組んでいるが、安全確保のために仕方ない場合もある。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>研修の機会を設け職員全体で確認して、防止に向けて取り組んでいる。地域の人権擁護委員を招いて法人な研修を開く予定あり。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在、成年後見人制度を利用されている方がおられる。今後も要望があれば行政担当者や地域包括支援センター、社会福祉協議会と連携を取って支援していきたい。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時の契約については、パンフレット配布、利用者を含めての事前見学をしていただき、本人・家族と十分な話し合いの後行っている。契約書・重要事項説明書に署名捺印してもらい、一部を家族に保管していただく。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日常生活の中で、利用者や家族に常に尋ねるようにしている。意見・苦情等気軽に話し合えるような関係作りに心がけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>一日2回のミーティングにて、職員の意見・提案を言ってもらい、良い提案は実践につなげている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>本部の人事担当で、職員の個別面談を行い、職員の意見を聞いたり、必要時は指導を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>認知症に対する深い理解や洞察そして、介護力の向上を培うための研修会を持つようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>近隣のグループホームとの交流はないが、今後交流を持つ機会が予定されている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>認知症のレベルによっては、本人との話し合いができない場合もある。本人も含めながら、家族や入居前のケアマネージャーから話を聞き、関係作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居に至るまでの、家族の思い・利用者本人の状況等を伺い、意見や要望をサービス提供に活かせるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>聞き取りを含めた話し合いを行い、支援の方向性を見極め、他サービスも視野においた対応に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>買物・掃除、洗濯たたみなど、能力に応じて一緒に行っている。利用者の得意とする趣味は共同で作成することで、連帯感と親近感を持ってもらえるようにしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族面会時には、状況報告を行うとともに、話しやすい関係を築くように努めている。家族と交流できる行事を複数行い、職員との絆をより深いものにするよう心がけている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>希望があれば家族と帰宅や外出をしている。入居前のかかりつけ医療の継続や、近所・知人の面会も促進している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者間の関係を十分に知り、食堂の席やソファに座り場所に配慮している。食事に誘ったり、トイレの場所を教えたり、迷っている人に声をかけたりする姿がある。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後も可能な限り、継続的に関わりを持つようにしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本心で話す人もいるが、本心を言わない人や、表現できない人がいるので、何気ない話の中で見出したり、態度で感じ取ったりする努力をしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前に、家族・担当ケアマネージャーから情報を提供してもらい把握するようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりの状況を把握し、情報の共有に努め記録するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>計画作成担当者が中心となって、本人・家族・職員で話し合うようにしている。本人・家族からの意見がない時は、日常を良く知っている職員が主になってしまうことがある。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>状態変化に応じた日々の個別記録の記入を行い、全職員が何時でも閲覧し意見反映できるようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>隣接している特養の趣味活動に参加したり、医療関係者や管理栄養士と連携を組んで利用者の心身の健康維持に取り組んでいる。個別の買物や墓参りなど臨機応変に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>消防署立会いの避難訓練の実施、保育園児を招いての餅つき、ボランティアの方による絵手紙などの支援をいただいている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>母体施設の医師が主治医となっており連携は密に取っている。状態に応じて、適切な医療が受けられるようにしている。受診介助も必要があれば行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>看護師は配置していないが、必要に応じて隣接する特養の看護師と連絡・相談し連携を取り、健康管理に努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院された場合、病院の連携室等との情報交換をしている。早期退院は常に念頭におき支援している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居時より、ある程度の意思確認はしている。重度化したときには、家族・主治医と話し合いを行い、方針を決めている。隣接している特養に転籍したり、自宅近くの病院に入院して終末期を迎えた例もある。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>利用者の急変、事故発生時に主治医の指示を受け、救急手当て、初期対応をしている。特養が主催する研修会があるが、全職員が実践力を身につけているとはいえない。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>消防署立会いの避難訓練の他に2ヶ月に一度の割合で自主的に避難訓練を実施している。近隣の協力は得ていないが、運営推進会議に参加をいただき、災害時には地域の消防団員の協力を得るようにしている。災害時の訓練は実施できていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人生の先輩として尊重し、失礼の無いよう、穏やかに対応するよう気をつけている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	個々人の理解力に合わせた、声掛けや説明を行い、本人の希望等が表出しやすいよう雰囲気を作り、無理強いにならないような自己決定の支援をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースに合わせて、日々の生活を支援している。入浴日は決めているが、本人の希望でその日以外に入ってもらえることもある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	特に希望がない場合には、訪問理美容を利用してもらおう。家族が面会時に散髪をされる方もいる。更衣時は季節に合った服装ができるよう声かけしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	職員は利用者と一緒に食事をして会話を楽しむようにしている。配膳・後片付けは無理強いせず自主的に手伝っていただいている。要望にてお好み焼き・ハンバーガーを食することもある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>献立は隣接している特養の管理栄養士が立てている。食事・水分摂取の状況の記録を行い、摂取量の少ない方には、高カロリーの飲み物や好みの乳製品・おやつ等で補うようにしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後の口腔ケアを実施している。自分で行えるところはしてもらい、後は介助している。義歯の不適合、出血、口内炎等に気をつけ、必要に応じて受診してもらう。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄の失敗が無いよう、個々に合わせたパターンで誘導している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便管理を行い、時にはオリゴ糖を飲用している。食生活・運動に工夫しながら自然排便できるように努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>身体レベルを考え日程を決めているが、本人の思いや状態変化があるので、曜日にとらわれず入浴してもらう場合もある。勤務体制や医療面との連携もあるので夜間の入浴は行っていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>その日の心身の状態を把握し、必要であれば居室で休んでもらったり、ソファで休んでもらう。安眠のため、日中のケアをきちんとし、身体の痛み、痒み、暑さ、寒さ、空腹等に配慮している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>主治医の管理・指示の下に服薬介助・確認を行っている。薬剤情報は個人のファイルに綴っている。症状に変化があれば主治医に報告し、連携をとっている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>その人の能力に応じた役割作りができてる。買物・散歩、レクリエーション等を要望を取り入れて支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>随時、希望があれば外出するようにしている。サーカス見物、宮島参拝など利用者の夢を実現できた。家族と自宅に帰ってのんびり過ごされる方もいる。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>金銭管理が可能で所持を希望される方には、助言しながら使えるよう支援している。移動パン利用や近所にてみかん購入をする方もあります。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>利用者の希望で電話をかけたたり、家族からの電話を取り次ぐこともある、1名携帯電話を所持して自由に家族との連絡を取っている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>天井高で窓が多いため自然光が入り、季節をふんだんに感じることができる。玄関やホールに利用者の作品を展示したり。季節の植物を置いたり、お花を生けたりと明るく落ち着いた雰囲気をかもし出せるような工夫をしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>玄関先のロッキングチェア・ホール内にソファや椅子を置きどこでも休めたり、思い思いに過ごせるように工夫している。気の合った利用者同士でそれぞれの居室にてくつろいでいる。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅から使い慣れた家具を持参していただいたり、家族の写真や植物を置き心地よく過ごしていただけるようにしている。冷蔵庫を持参している方もいる。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>建物内部はバリアフリーで安全に生活を送られるように、ゆったりした居室内には洗面台・トイレが設置してありプライバシーが保てるようにしている。居室の入り口には個々人の持ち寄った物を置いてわかりやすくしている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の3分の2くらいの
			③利用者の3分の1くらいの
			④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の3分の2くらいと
			③家族の3分の1くらいと
			④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の3分の2くらいが
			③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の3分の2くらいが
			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

(様式3)

2 目標達成計画

事業所名 誠心園グループホーム

作成日 平成 24 年 3 月 30 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	火災訓練は、都度行っておりますが、総合的な防災に関しての話し合いや訓練が未実施。	法人全体で話しをし、防災についての施設としての役割や避難誘導等の訓練を行っていく。	防火管理者や施設長と共に消防署や地域の消防団、近隣住民と協力して、防災に向けての話し合いをしていく。	6か月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。